



ひばりぐみだより「あき」

チャリティー第一保育園 令和6年12月発行

3期(9~11月)の目標

- ◎保育教諭等の見守りの下、難しいところは保育教諭等に援助を求めながら、自分でできる喜びや達成感を味わう。
- ◎紅葉、落ち葉などの秋の自然に触れ、遊ぶ。

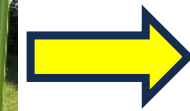
園庭で遊んでいると、かなとくんのぼり棒の下で靴と靴下を脱ぎ始めました。何をしているのか見ていると…こまどりさんがしていることを真似ようと思ったようです。それを見た周りの子にも連鎖し、あっという間にひばはとさんで埋めつくされたのぼり棒でした。まねることは「学ぶ」こと！



見て！
のぼれたよ



こうやって
足をかけるんだよね



あたしものぼり棒
やるー！早く靴と
靴下脱ごうっと。



→
→
靴もそろえて脱いで
いました。←



大盛りに
なったよ！



葉っぱの下に
何かいるかも…

ひろきくんの木の枝、
太くて長くていいなあ



クライミング
できるから見て。
自分で出来る
からね！



先生に手伝って
もらったから、
あとは靴下をひ
っぱるだけ！



秋になると保育園の近くにある大きな木からの落ち葉がたまり、気が付くと枯れ葉の絨毯になっています。その場所へ行くと子ども達は躊躇なく素手で葉に触れたり、木の枝で葉をいじって虫探しをするはとさんの真似をしようとする姿が見られました。秋は興味関心の宝庫です。



おでこも上手に
拭けるよ

あ…拭いたのに
まだ手が汚れてる



五手指を靴下に入れる
のは難しいんだよね



ぼくの顔と同じくらいの
大きさの葉っぱだよ

